

群馬県がん対策推進計画(第4期)の目標一覧

1 正しい知識に基づくがん予防・がん検診の推進

(がん予防:元気県ぐんま21(群馬県健康増進計画)に基づき、取り組む施策目標)

目標項目(●は国と同じ指標)	目標値 番号(仮)	目標値 (2029年度)	計画策定時 (2024年度)
①成人の喫煙率 ●	1-1	8.5% (2032)	13.1% (2021)
②受動喫煙の機会を有する者の割合			
職場 ●	1-2	望まない受動喫煙の ない社会の実現 (2032)	20.9% (2021)
家庭 ●	1-3		4.4% (2021)
飲食店 ●	1-4		16.6% (2021)
③成人1日あたりの食塩摂取量 ●	1-5	7g (2032)	10.5g (2022)
④成人1日あたりの野菜と果物の摂取量			
野菜摂取量の平均値 ●	1-6	350g (2032)	282.7g (2022)
果物摂取量の平均値 ●	1-7	200g (2032)	95.83g (2022)
⑤運動習慣のある者の割合			
(1日30分以上・週2回以上の運動を1年以上継続している者) ●	1-8	50% (2032)	38.6% (2022)
⑥適正体重を維持している者の割合			
20～60歳代男性の肥満者(BMI25以上)	1-9	25%未満 (2032)	29.5% (2022)
40～60歳代女性の肥満者(BMI25以上)	1-10	10%未満 (2032)	14.9% (2022)
20～30代女性のやせの者(BMI18.5未満の者) ●	1-11	20代15%未満 30代15%未満 (2032)	21.8% (2022)
低栄養傾向(BMI20以下の者)の高齢者 ●	1-12	13%未満 (2032)	15.8% (2022)
⑦生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(1日あたりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者) ●	1-13	8% (2032)	9.0% (2021)

※参考:主な酒類の換算目安(アルコール度数・純アルコール量)

(がん検診)

目標項目(●は国と同じ指標)	目標値 番号(仮)	目標値 (2029年度)	計画策定時
①がん検診受診率 ● (40歳～69歳、子宮頸がんは20歳～69歳) 子宮頸がん、乳がんは過去2年	1-14	60%	胃がん 42.6% 肺がん 55.7% 大腸がん 46.3% 子宮頸がん 42.5% 乳がん 47.9% (令和4年)
②がん検診精密検査受診率 ● (40歳～74歳、子宮頸がんは20歳～74歳)	1-15	100%	胃がん 93.3% 肺がん 92.0% 大腸がん 78.9% 子宮頸がん 91.2% 乳がん 95.3% (令和3年度)
③市町村がん検診「事業評価のためのチェックリスト」の全項目の実施割合 (集団検診)	1-16	95%	胃がん 91.3% 肺がん 90.5% 大腸がん 91.2% 子宮頸がん 91.5% 乳がん 91.7% (令和4年度)
④市町村がん検診「事業評価のためのチェックリスト」の全項目の実施割合 (個別検診)	1-17	95%	胃がん(X線) 91.7% (内視鏡) 89.0% 肺がん 89.7% 大腸がん 91.7% 子宮頸がん 89.5% 乳がん 91.0% (令和4年度)

2 患者本位のがん医療の充実

目標項目(●は国と同じ指標)	目標値 番号(仮)	目標値 (2029年度)	計画策定時
①重粒子線治療患者数(年間)	2-1	800人程度を維持	875人 (令和4年度)
②骨髄バンクドナー登録数	2-2	8,200人	6,698人 (令和5年7月)
③がん看護専門看護師を1名以上配置する拠点・推進病院数	2-3	17病院	12病院 (R4.9.1)

3 がんとともに安心して暮らせる地域社会の構築

目標項目(●は国と同じ指標)	目標値 番号(仮)	目標値 (2029年度)	計画策定時
①がん診療連携拠点病院でがん診療に携わる医師の緩和ケア研修受講率	3-1	100%	78.0% (令和4年9月)
②ぐんまの安心がんサポートブック	3-2	維持	更新
③末期がん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数(人口10万人あたり)※	3-3	二次保健医療圏ごとに10.3以上	6.1~23.5 (令和4年度)
④・相談支援センターに、両立支援コーディネーターの研修を受講した相談員を配置している ・産業保健総合支援センターやハローワークと連携している ・社会保険労務士と契約している拠点・推進病院数	3-4	17病院	【現在】 就労に関する相談支援を実施する拠点・推進17病院 (令和3年度)

※「在宅がん医療総合診療料」届出医療機関数

群馬県がん対策推進計画(第4期)の進捗管理指標一覧

◎最終目標「がんによる死亡者の減少」

※「－」は、策定時に数値を把握していないもの

項目	指標番号(仮)	指標 (●は国と同じ指標)	計画策定時(2024年度)	データソース
全体	0001	75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対) ●	65.1 (令和3年)	人口動態統計による都道府県別がん死亡データ/国立がん研究センター
全体	0002	がんによる死亡率(人口10万対)	321.2 (令和3年)	人口動態統計/群馬県人口動態統計調査結果(確定数)
全体	0003	5年相対生存率(全部位) ●	59.9% (2014年症例)	群馬県がん登録事業報告平成31・令和元年(2019年)

1 正しい知識に基づくがん予防・がん検診の推進(予防)

項目	指標番号(仮)	指標 (●は国と同じ指標)	計画策定時(2024年度)	データソース
予防	1001	年齢調整罹患率(人口10万対) ●	365.0 (2019(平成31・令和元)年度)	群馬県がん登録事業報告
予防	1002	未成年者の喫煙率(12～19歳) ●	3.3% (2021)	県民健康・栄養調査
予防	1003	早期発見率(がん登録に占める限局の割合) ●	胃がん 57.2% 肺がん 34.1% 大腸がん 44.8% 子宮頸がん 44.9% 乳がん 59.4% (H31・R元年度)	群馬県がん登録事業報告
予防	1004	新 検診がん種別進行がん罹患率 ● (リンパ節転移+隣接臓器浸潤+遠隔転移)	胃がん 35.3% 肺がん 56.4% 大腸がん 48.6% 子宮頸がん 47.9% 乳がん 35.2% (H31・R元年度)	群馬県がん登録事業報告
予防	1005	新 拠点・推進病院における、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数 ●	－	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
感染に起因するがんへの対策	1101	肝炎ウイルス検査受検率 ●	7.5% (令和3年度)	地域保健・健康増進事業報告
がん検診受診率	1201	がん検診受診率(国保/国保) ●	胃がん 14.7% 肺がん 19.4% 大腸がん 16.7% 子宮頸がん 18.2% 乳がん 19.6% (令和3年)	地域保健・健康増進事業報告

2 患者本位のがん医療の充実(医療)

項目	指標番号(仮)	指標 (●は国と同じ指標)	計画策定時(2024年度)	データソース
手術療法・放射線療法・薬物療法の充実、がんゲノム医療、重粒子線治療の推進、造血幹細胞移植の促進	2101	手術療法の実績(手術件数(件)) 【拠点・推進病院】	3,187件(4か月分) ※参考(R3.1.1～12.31) 9,561件	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2102	放射線療法の実績(放射線治療のべ患者数(人)) 【拠点・推進病院】	7,701人 (R3.1.1～12.31)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2103	がん薬物療法の実績(がんに係る薬物療法のべ患者数(人)) 【拠点・推進病院】	8,044人(4か月分) ※参考(R3.1.1～12.31) 24,133人	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2104	免疫療法提供(保険適用)件数 【拠点・推進病院】	7,450件 (R3.1.1～12.31)	感染症・がん疾病対策課調査
	2105	がん遺伝カウンセリング加算算定件数 【拠点・推進病院】	245件 (R3.1.1～12.31)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2106	日本医学放射線学会 放射線治療専門医を配置している、拠点・推進病院の割合	12病院/17病院 (R4.9.1)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2107	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医を配置している、拠点・推進病院の割合 ※悪性腫瘍に対する薬物療法(化学療法、抗がん剤治療)において高度な知識や技量、経験を持つ医師	6病院/17病院 (R4.9.1)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2108	日本医療薬学会 がん専門薬剤師を配置している拠点・推進病院の割合 ※がん専門領域の病気を深く理解し、薬の専門知識を生かすとともに、患者を取り巻く環境を考慮する薬剤師	3病院/17病院 (R4.9.1)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
チーム医療の推進 ③インフォメーション/セカンドオピニオン	2201	がん患者指導管理料1算定件数 ※医師が看護師と共同して診療方針等について十分に話し合い、その内容を文書等により提供 【拠点・推進病院】	5,810件 (R4.9.1)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2202	新 治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合 ●	71.7% (H30年度)	患者体験調査
	2203	年間がんのセカンドオピニオン外来受診件数 【拠点・推進病院】	315件 (R4.9.1)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2204	年間がんのセカンドオピニオン紹介件数 【拠点・推進病院】	623件 (R4.9.1)	感染症・がん疾病対策課調査
リハビリテーション	2301	新 リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師、理学療法士等を配置している拠点・推進病院の割合 ● ・医師 ・理学療法士等	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
支持療法	2401	新 治療による副作用の見通しを持たず患者の割合 ●	60.9% (H30年度)	患者体験調査
	2402	新 身体的なつらさがあるときにすぐに医療スタッフに相談ができると思う患者の割合 ●	37.2% (H30年度)	患者体験調査
妊孕性温存療法	2501	新 患者の希望を確認するとともに、がん治療を行う診療科が中心となって、院内または地域の生殖医療に関する診療科とともに、妊孕性温存療法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供及び意思決定支援を行う体制を整備している。	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2502	新 治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合 ●	66.0% (H30年度)	患者体験調査
	2503	新 ・妊孕性温存療法助成件数 ・温存後生殖補助医療助成件数	17人・25件 1人・2件 (R4年度)	感染症・がん疾病対策課事業
希少がん・難治性がん	2601	新 希少がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる拠点・推進病院の割合	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告

項目	指標番号(仮)	指標 (●は国と同じ指標)	計画策定時(2024年度)	データソース
小児がん医療／AYA世代のがん医療／高齢者のがん医療	2701	新 就学、就労、妊孕性の温存、アピアランスケア等に関する状況や本人の希望についても確認し、自施設もしくは連携施設のがん相談支援センターで対応できる体制を整備している拠点・推進病院の割合	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2702	新 長期フォローアップについて知っていると回答した人の割合 ●	52.9% (R元年度)	小児患者体験調査
	2703	新 当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点・推進病院の割合 ●	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
がんと診断された時からの緩和ケア	2801	日本緩和医療学会 緩和医療専門医を配置している、拠点・推進病院の割合 ※緩和医療に関する十分な学識と経験を有する者を専門医	10病院/17病院 (R4.9.1)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2802	緩和ケアにおける苦痛のスクリーニングを行った患者数 【拠点・推進病院】	23,637人 (R4.9.1)	感染症・がん疾病対策課調査
	2803	緩和ケア研修修了医療従事者数(医師を除く:累計)(拠点病院実施研修) 【拠点・推進病院】	998人 (R5.3.31)	感染症・がん疾病対策課調査
	2804	看護師向け緩和ケア研修(ELNEC-J)を修了した看護師数(累計) 【拠点・推進病院】	620人 (R5.3.31)	感染症・がん疾病対策課調査
	2805	緩和ケア病棟を有している、拠点・推進病院数、及び病床数	5病院/101床 (R4.9.1)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2806	新再掲 身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができると思う患者の割合 ●	37.2% (H30年度)	患者体験調査
	2807	新 心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合 ●	23.9% (H30年度)	患者体験調査
病理診断	2901	病理指導医数 病理専門医数 【拠点・推進病院】	14.5人 28.5人	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	2902	病理コンサルテーションシステムの利用件数 【拠点・推進病院】	23件	感染症・がん疾病対策課調査
	2903	新 病理診断数 病理組織迅速組織顕微鏡検査数 【拠点・推進病院】	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告

3 がんとともに安心して暮らせる地域社会の構築(共生)

項目	指標番号(仮)	指標 (●は国と同じ指標)	計画策定時(2024年度)	データリソース
がん診療連携拠点病院等と地域の連携	3101	地域連携クリティカルパス適用患者数(2か月間) 【拠点・推進病院】	441人 (R3.1月～12月)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
小児・AYA世代のがん対策	3102	新 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会参加人数 ●	—	小児・AYA世代の長期フォローアップ体制整備事業事業報告
	3103	新再掲 長期フォローアップについて知っていると回答した人の割合 ●	52.9% (R元年度)	小児患者体験調査
	3104	新 治療中に学校や教育関係者から治療と教育の両立に関する支援を受けた家族の割合 ●	76.6% (R元年度)	小児患者体験調査
高齢者のがん対策	3105	新再掲 当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点・推進病院の割合 ●	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
在宅緩和ケア	3201	再掲 地域連携クリティカルパス適用患者数(2か月間) 【拠点・推進病院】	441人 (R3.1月～12月)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	3202	がん患者の在宅死亡割合(自宅+老人ホーム)	25.3% (令和3年)	人口動態統計
	3203	介護従事者向け在宅医療・緩和ケア研修を修了した介護従事者数(累計)	164人 (R3.3.31/R3実施なし)	感染症・がん疾病対策課事業
	3204	麻薬調剤の実施可能な薬局数	802箇所 (R5.3.31)	薬務課調査
	3205	新 群馬県在宅療養支援事業利用件数	3件 (R4年度)	感染症・がん疾病対策課事業
相談支援・情報提供	3301	新 がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合	78.8% (H30年度)	患者体験調査
	3302	がん相談支援センターの延べ相談件数及び新規相談件数(歴年) 【拠点・推進病院】	延べ:30,483件 新規:— (R3.1.1～12.31)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	3303	認定がん専門相談員数	6人 (2023.4.1時点)	国立がん研究センター
	3304	国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員指導者研修を修了した相談員数	11人 (2023.年10月時点)	国立がん研究センター
	3305	国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員基礎研修を修了した相談員を配置する拠点・推進病院の割合	16病院/17病院 (R4.9.1)	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	3306	群馬県がんピアサポーター派遣人数	6人 (令和4年度) ※新型コロナウイルス感染症の影響により派遣数少	感染症・がん疾病対策課事業
がん患者等の社会的な問題への対策(サイバーシップ支援)	3401	新再掲 就学、就労、妊孕性の温存、アピアランスケア等に関する状況や本人の希望についても確認し、自施設もしくは連携施設のがん相談支援センターで対応できる体制を整備している拠点・推進病院の割合	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	3402	新 アピアランスケア研修(e-learning)修了者数 ●	—	感染症・がん疾病対策課調査
	3403	新 外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができたがん患者の割合 ● (H30:誰かに)	33.3% (H30年度)	患者体験調査
	3404	新 治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合 ●	39.1% (H30年度)	患者体験調査
	3405	新 がんと診断後、休職・休業はしたが、退職・廃業はしなかったがん患者の割合 ●	45.8% (H30年度)	患者体験調査
	3406	新 院内で自殺リスクに関する研修を実施した拠点・推進病院の割合 ●	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
	3407	新再掲 心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合 ●	23.9% (H30年度)	患者体験調査

4 これらを支える基盤の整備(基盤)

項目	指標 番号(仮)	指標 (●は国と同じ指標)	計画策定時 (2024年度)	データソース
人材育成	4101	緩和ケア研修修了医療従事者数(医師を除く:累計)(拠点病院実施研修) 【拠点・推進病院】	998人 (R5.3.31)	感染症・がん疾病対策課調査
	4102	新 再掲 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会参加人数 ●	—	小児・AYA世代の長期フォローアップ体制整備事業事業報告
	4103	介護従事者向け在宅医療・緩和ケア研修を修了した介護従事者数(累計)	164人 (R3.3.31/R3実施なし)	感染症・がん疾病対策課事業
	4104	新 再掲 アピアランスケア研修(e-learning)修了者数 ●	—	感染症・がん疾病対策課調査
がん教育	4201	新 外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合 ●	小学校21/326校 中学校10/191校 高校2/97校 (R3年度)	がん教育の実施状況調査
がん登録	4301	がん登録データの利用件数 ●	第3期 (R5.9月末) 累計20件	感染症・がん疾病対策課事業
患者・市民 参画の推 進	4401	新 再掲 拠点・推進病院における、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数 ●	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告
デジタル化 の推 進	4501	新 患者とその家族が利用可能なインターネット環境(free Wi-Fi)を整備している拠点・推進病院の割合 ●	—	がん診療連携拠点病院現況報告・群馬県がん診療連携推進病院現況報告